

19 足場パイプ等を利用して格安に設置できる簡易堆肥舎（多目的施設）

キーワード	簡易堆肥舎、多目的施設
担当	宮崎牧場 飼料課
連絡先	電話：0984-23-3500 ファックス：0984-24-0953 電子メール：nlbc_miyazaki@nlbc.go.jp

1 背景・ねらい

「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づき、畜産農家には家畜ふん尿の適切な処理が義務づけられています。

しかし、家畜ふん尿処理施設の設置は多額の経費を要することから、経営に大きな影響を及ぼすものと考えられます。

そこで、中小規模畜産農家が自力施工で簡単に設置できるように、足場パイプ、コンパネ等を利用した簡易堆肥舎を考案しました。

2 内容・特徴・効果

主要資材は、設置コストを抑えるため、次のとおりとしました。

- ① 柱や梁などには、建設現場などで使われる足場パイプと専用の接続クランプを利用しています。
- ② 壁には、コンパネを利用しています。
- ③ 屋根には、畜産用波板を利用しています。
- ④ 土間には、コンクリート打設に代えて、地下浸透を防止するためのビニールシートを敷き詰め、その上に堆肥に混入しても問題のないシラス土（南九州特有の火山灰土）を20cmの厚さで敷き詰めています。

当场では、この施設を完熟堆肥（戻し堆肥として利用）の保管庫として利用していますが、構造を少し変えるだけで畜舎や倉庫などにも利用可能です。

構造及び所要経費

施設規模：面積192m²（横24m×奥行8m）、高さ4m

施設様式：片屋根式、6区画に区分（1区画当たり間口4m×奥行8m）

材 料	足場パイプ（4m、5m）	65本
	ジョイント	49個
	畜産用波板（6尺、8尺）	220枚
	垂木	114本
	鉄筋（9mm）	251m
	クランプ（羽子板・垂木・直交）	333個
	シラス土	約40m ³

費 用：約68万円



写真1 簡易堆肥舎全体



写真2 屋根の様子



写真3 足場パイプの接続